

12/15  
2025  
令和7年

こくら南



【豊前海一粒かき】  
これからは旬です。

編集 小倉南区役所総務企画課 ☎951・1024 FAX951・5553

- 時間は24時間表記。
- 料金について記載のない催しは入場無料(参加無料)。
- はがき・往復はがき・電子申請の応募方法は11ページを参照。

申=申し込み 問=問い合わせ  
共通=共通の内容 担=市の担当課  
ネット=ネット窓口(電子申請)

ONE若★区役所イルミ

若園校区のイルミネーション「ONE若イルミ」が、今年は小倉南区役所と連携しパワーアップして行われます。約2万球のLEDが地域を明るく照らします。点灯エリアは若園市民センター(若園四丁目)と小倉南区役所。18～22時。期間など詳細は小倉南区役所総務企画課☎951・4112へ問を。



平尾台をイメージした「ルームフレグランス」誕生

小倉南区役所では平尾台を愛する有志の人々と一緒に、新たな魅力創出と情報発信を目的とした「平尾台魅力発信プロジェクト『羊礁香景』」を立ち上げました。プロジェクトでは、人々の記憶に働きかける“香り”に着目し、平尾台をモチーフにしたルームフレグランス2種を制作しました。豆皿の上に平尾台の石灰石を載せてルームフレグランスを吹きかけると、香る「小さな平尾台」をお楽しみいただけます。ソラランド平尾台(平尾台一丁目)とコワーキングスペースCOCON YARD HIRAODAI(平尾台二丁目)にて、数量限定で販売しています。問小倉南区役所総務企画課☎280・7839へ。



親子ふれあいルーム「さざん」

子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促すため、子育て家庭の親と子ども(おおむね3歳未満の乳幼児)が気軽に集い、相互に交流を図る場として、小倉南生涯学習センター(小倉南区役所横)に親子ふれあいルーム「さざん」を開設しています。専任スタッフが常駐し、子育て相談や講座の開催、子育て関連情報の提供などを行っています。お気軽にご利用ください。詳細は小倉南区親子ふれあいルーム・さざん☎922・5036へ問を。市のホームページでもご覧になれます。担子ども家庭局こども若者成育課☎582・2473。

大庭産業アリーナ小倉南のスポーツ教室

- ①大人ダンス部 1月5日～3月23日のおおむね毎週月曜日(全10回)13～14時。対象は50歳以上。先着12人。受講料7700円(体験費770円)。
  - ②ジュニア体育教室 いずれも1月13日～3月17日の毎週火曜日(全10回)。▶年中～年長クラス=16～17時 ▶小学生クラス=17～18時。②の共通先着各クラス20人。受講料1万3750円(体験1375円)。
  - ③Kidsはじめてダンス 1月6日～3月24日のおおむね毎週火曜日(全9回)16時45分～17時30分。対象は4歳～小学生。先着12人。受講料1万2375円(体験費1375円)。
  - ④Kidsフィットネス 音楽に合わせた格闘技の動きとキッズ向けヨガを行います。1月14日～3月18日のおおむね毎週水曜日(全9回)17～17時45分。対象は小学生。先着12人。受講料1万2375円(体験費1375円)。
  - ⑤シニア健康教室 1月6日～3月24日の毎週火曜日(全12回)。対象は65歳以上。先着100人。受講料6000円(体験500円)。
- 共通要約筆記あり。申電話で12月17日から大庭産業アリーナ小倉南(日の出町二丁目、☎963・2675)へ。聴覚

に障害のある人はFAX963・2675も可(基本事項と要約筆記必要の有無を記入)。

文化記念体育施設の教室

- ①さわやか健康教室 音楽に合わせてストレッチや運動をします。1月7日～3月18日のおおむね毎週水曜日(全9回)10～11時30分、文化記念体育施設(田原五丁目)で。対象は20歳以上。受講料5400円。
- ②スローエアロビック教室 座った状態でストレッチなどを行います。1月9日～3月27日のおおむね毎週金曜日(全9回)10～11時、文化記念体育施設で。対象は20歳以上。受講料5400円。
- ③ソフトテニス教室 1月10日～3月28日(予備日4月)のおおむね毎週土曜日(全10回)、文化記念庭球場(田原五丁目)で。▶中学生=8～10時 ▶小学3～6年生(保護者同伴)=10～12

時。③の共通先着各6人。受講料9000円。ラケット、シューズ、帽子が必要。

④ノルディックウォーキング教室 2本のポールを使ってストレッチやウォーキングをします。▶文化記念公園(田原五丁目)=1月11日(日)。先着10人 ▶曽根臨海公園(大字曽根)=1月25日(日)。先着10人。④の共通10時30分～12時。対象は20歳以上。受講料600円。ボールの貸し出しあり。

共通申12月17日から文化記念体育施設☎473・9230へ。

一陽来復の厄払いに「ゆず湯」


12月20日(土)・21日(日)の9時30分～15時30分、新門司老人福祉センター「まつがえ荘」(門司区新門司三丁目、☎481・3951)で。年齢制限なし、どなたでも入館可。入館料200円(未就学児は無料)。駐車場あり。無料送迎バス(吉田・沼方面)あり。運行時間や停車場所などの詳細は同施設に問を。

450年前の偉業を後世に伝える“紙芝居動画”  
「高台に水を引いた男」

今から約450年前の戦国時代、高津尾地区は周囲を川に囲まれた高台に位置していたため、田畑へ水を引くことができず、貧しい暮らしが続いていました。そこで、村の森長(現在の町内会長)を務めていた若者・心吉は、用水路を築くことを決意します。心吉の熱意が村人たちの協力を呼び、さらに命を賭ける覚悟を示すことで、取水する場所を管轄する森長からも了解を取り付けることに成功しました。こうして心吉は、限られた道具しかなかった時代に、十年もの歳月をかけて用水路を完成させました。

しかし、約束の日には水が村まで届かず、期待に応えられなかった心吉は磔の刑となり、命を落とすことになりました。村人たちは深い悲しみに包まれました。ところがその直後、大雨により川の水位が上がり、水は水路を伝って高津尾の村まで流れ込んだのです。

心吉と村人たちが築いた用水路は、今もなお高津尾の田畑を潤し続けています。



この歴史を伝えるため、中谷地区まちづくり協議会などが、心吉を主人公とした紙芝居動画「高台に水を引いた男」を制作しました。地域の歴史や文化に親しむ機会として、中央図書館や小倉南図書館にも配布されています。子どもから大人まで楽しめる、郷土に息づく物語にぜひ触れてみてください。

問両谷市民センター☎451・1138へ。